

今年も自然の恵みをいっぱいに含んだおいしい新茶ができました。摘みたてのおいしさを心ゆくまでお楽しみください。

荒茶を精製する過程でできる粉茶は、お寿司屋さんの「あがり」でもおなじみです。粉状なので、お茶に含まれる有効成分が浸出しやすく、鮮やかな色合いと煎茶の風味が手軽にお楽しみいただけます。

大福茶の由来

今から千年余り前、都に疫病が流行した時に、高僧空也上人が十一面觀音像を刻み觀音に供えたお茶を病人に与えると疫病が平癒しました。

村上天皇がこれを聞き召され、宮中の吉例行事として年の始めにお茶を服すようになられたそうです。これは「王服」と呼ばれていましたが、何時の間にか「大福」と云われる様になりました。

新茶

自然の恵みをいっぱいにうけて育まれた新茶。
口もとに湯呑みを持つていくと青葉の香り、ひと口含むとまろやかな味わいが広がります。
できたらばかりのお茶です。さわやかな初夏の味わいをどうぞ。

●新茶の召し上がり方
味、色、香り、ともに豊かな新茶。初夏の日差しをいっぱいに受けながら育まれた新茶は、お湯を入れ、茶の葉がゆっくりとひらきはじめた頃が飲み頃です。是非、一度お召し上がりください。

ポットのお湯をまず人数分の湯のみにつきます。
急須に新茶をたっぷり入れ、湯のみのお湯をゆっくり注いで40~50秒くらいして、茶の葉がわずかにひらきはじめてからゆるりと一滴残さず均等に注ぎ分けてお出しください。

1903

11×55mm

2009

21×9mm

2056

6×35mm

2055

6×33mm

2374

25×9mm

●ゴミに出すときは、各市町村の区分に従ってください。

●製品には万全を期しておりますが、品質その他お気づきの点がございましたら製造者までご一報ください。

ゴミに出すときは、各市町村の区分に従ってください。

△熱湯を使用の場合は充分ご注意ください。

△熱湯を使用の場合は充分ご注意ください。

1625

31×95mm

2979

30×82mm

1344

19×82mm

1320

23×84mm

1770

29×62mm

1833

22×63mm